

資料 1
大田区基本構想審議会
第1専門部会
平成19年11月6日

大田区 基本構想審議会 第1部会 資料

第3回

平成19年11月6日(火)



第3回部会の論点

「日本・世界を支える大田区の産業はどうあるべきか」

- 区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保
- 区内産業立地のあり方・展望
- 商店街等の区内商業の展望・方向性



論点1： 区内高度基盤技術の継承と人材の育 成・確保

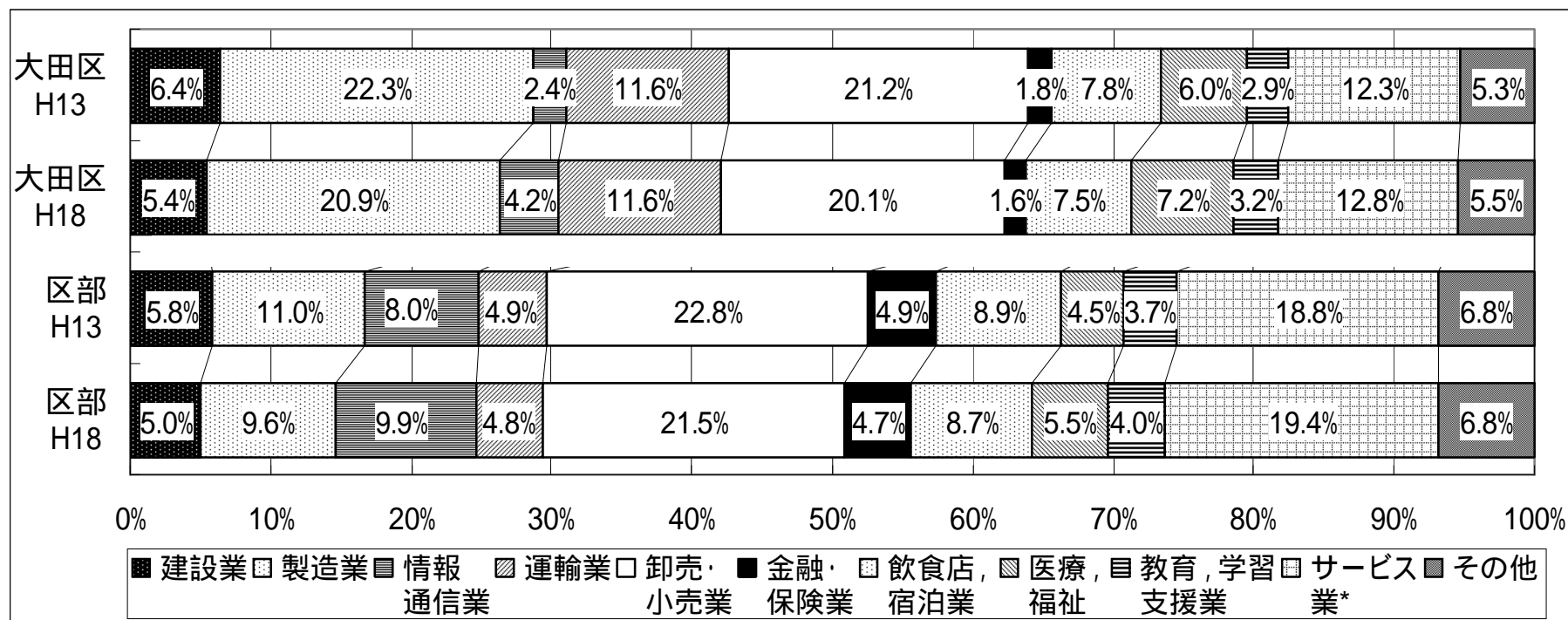
関連参考資料：

大田区に関する基礎資料集 39～46ページ
23区比較資料 5～6ページ

区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保

大田区は23区全体と比較して、製造業、運輸業、医療・福祉の比率が高い点が特徴である。
過去5年間の変化をみると、大田区・区部ともに、製造業、卸売・小売業の比率が減少し、情報通信業、医療・福祉、教育・学習支援業、サービス業の比率が増加している。

大田区及び23区の産業分類別従業者数比率



(資料)総務省「事業所・企業統計調査」より作成
(注)サービス業*: サービス業(他に分類されないもの)

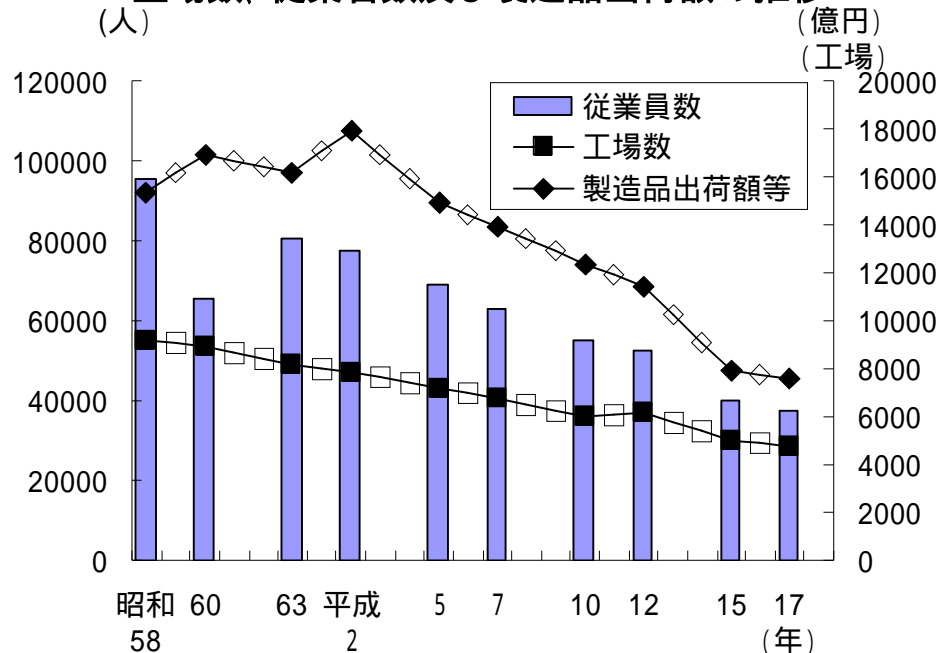
区内高度基盤技術の継承 と人材の育成・確保

【現状】

大田区の工業は、工場数、従業者数、製造品出荷額等いずれも23区中1位のものづくりのまちである。【基礎資料集p.41】

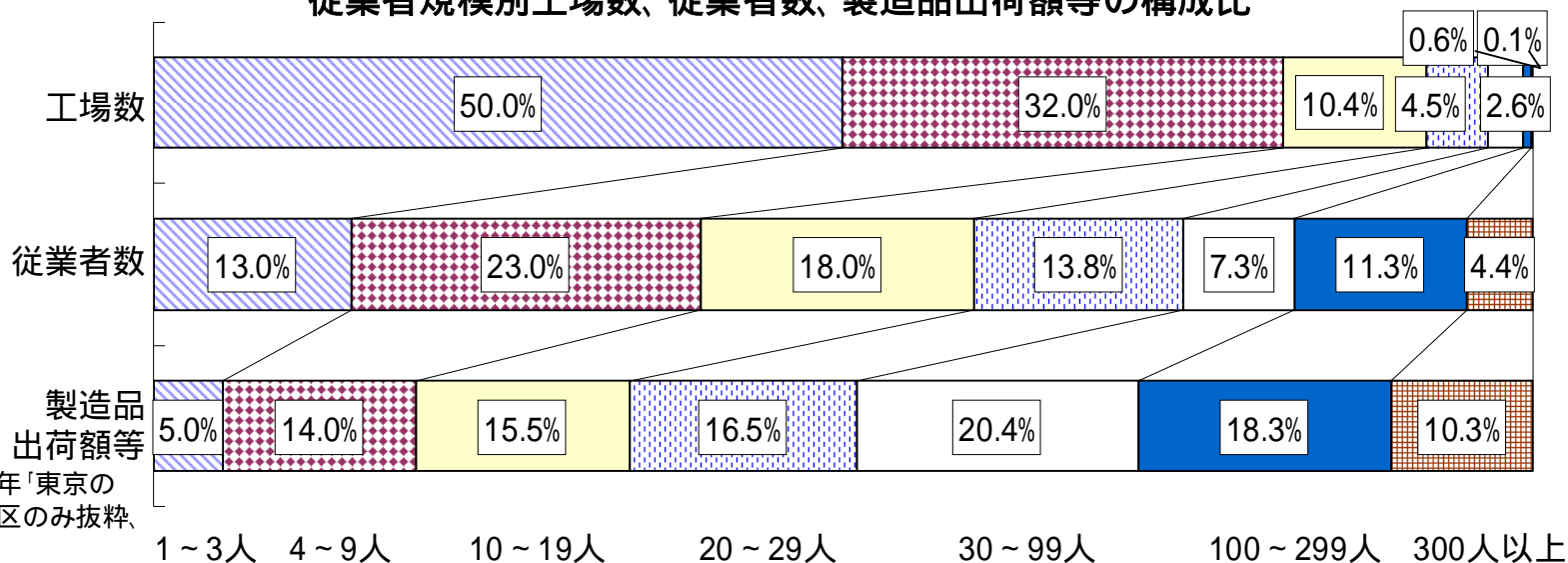
大田区の工業は中小零細工場が多い。10人以下の工場が全体の80%を占める。工場数はピーク時の9,000超から約5,000に急減している。

工場数、従業者数及び製造品出荷額の推移



(資料)「東京の工業」より
大田区のみ抜粋、作成

従業者規模別工場数、従業者数、製造品出荷額等の構成比



(資料)平成17年「東京の工業」より大田区のみ抜粋、作成

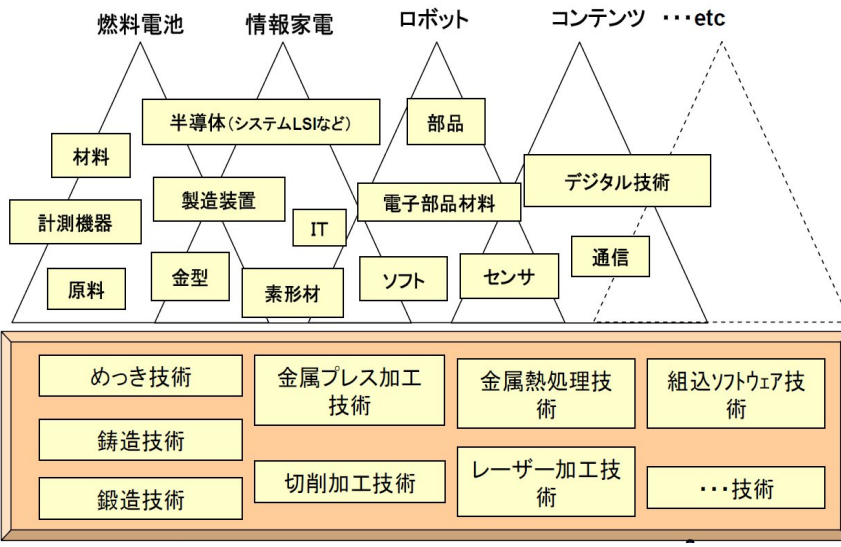
区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保

機械金属製造業が全体の80%を占め、生産財供給に特化した産業地域である。【基礎資料集p.39】
 受注型加工業が多いが、特定企業に属する縦型下請け構造ではなく、横請けネットワークが機能している。
 特注部品製造、試作、自動機製作、金型製作等の他品種少量生産を得意とし、開発を支える基盤技術が集積している。

基盤技術が支える産業構造の概念図

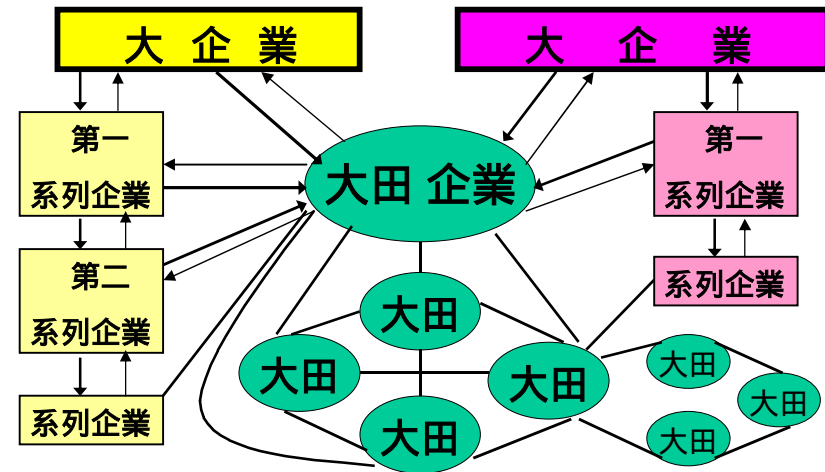
「基盤技術を有する中小企業群」

「ものづくり」の基盤となる産業分野に属し、川下産業にとって完成品の生産に必要な部品・部材の製造に必要な不可欠かつ容易に習得することが困難な技術(基盤技術)を有する企業群



大田区の中小企業産業構造

系列に属さないオープンな企業



(資料)大田区産業振興協会作成

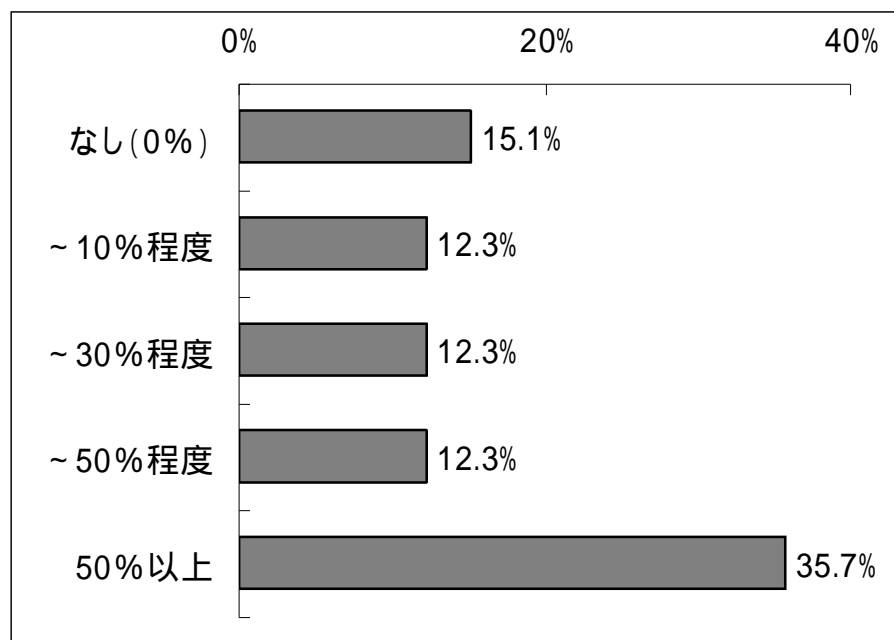
(資料)中小企業庁「製造業の基盤技術を担う中小企業への支援」(中小企業政策審議会第1回経営支援部会、平成17年9月)

区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保

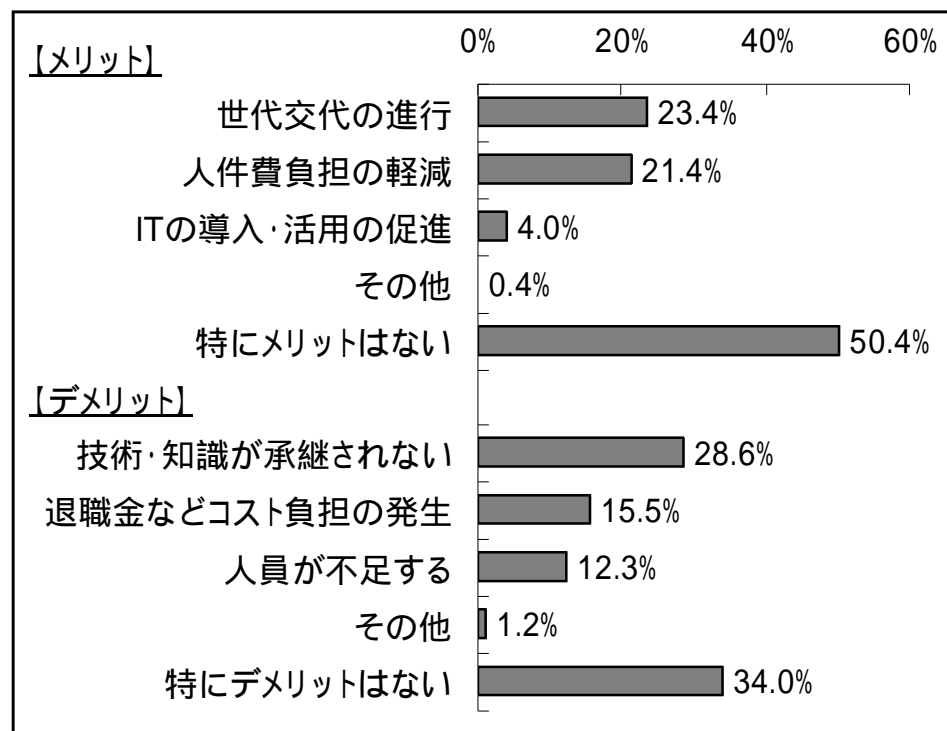
【課題】

区内の製造業は代表者や役職員の高齢化が進んでいる。【下図及び基礎資料集p.44】
その結果、技術・知識が承継されない点などが課題となっている。

役職員の50歳台以上の割合



中高年従業員の退職が経営に与える影響



(資料)大田区産業経済部産業振興課「大田区内中小企業の平成18年度第2・四半期の景況について」

(注)任意の区内製造業事業所258事業所(うち有効回答255)への面接聴取調査

(注2)対象者と回答者の割合により、100%にならない

区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保

人材のマッチングから、職員や経営者へのセミナー、子どもや未経験者への啓発など、大田区では様々な人材育成のための取り組みを行っている。

大田区におけるこれまでの人材育成の主な取り組み

名称	概要
おしごとナビ	区内企業の求人情報を提供するウェブサイト。メールマガジンや各種コラム等による地域情報の発信も行う。
若者と中小企業とのネットワーク構築事業	中小製造業と工業高校を中心とした教育機関に呼びかけ、より多くの若者がモノづくり企業に、そして大田区に定着するように、イベント・各種セミナー・工場見学等を提案・提供する。
産業団体技術指導講習会	様々な知識や技術に関する講習会。ビジネスマナーなどを学ぶ「新入社員セミナー」から「やさしい図面の見方」「実用汎用旋盤」「生産管理講習会」まで、幅広いニーズに応える。大田工業連合会と共催。
次世代経営者育成セミナー	対象は大田区内の中小企業者もしくは若手経営者・後継者。企業会計や労務管理を始め経営理念や社員とのコミュニケーションスキル、会社を承継するための基礎知識などのセミナーを実施する。
デュアルシステム	企業現場で訓練した時間を成績の単位として認めるシステム。東京都立六郷工科高校で取り入れている。
若手技術者のための、ものづくり基盤技術向上プログラム	都立産業技術高等専門学校を利用して、中小企業の若手人材育成のための技術講座を開催する。講義と実習をセットにして、高専の教授や企業のOBが講師となり、基礎から応用、発展まで学ぶ。
おおた少年少女発明クラブ	区内の小学4年生～中学生を対象に、モノづくりの楽しさを体験学習させる機会を継続的に提供する。年間18回、土曜午後には活動おこない、教室での活動のほか区内の工場見学なども行う。




若者と中小企業とのネットワーク構築事業
(資料)大田区産業振興協会ウェブサイト



おおた少年少女発明クラブ
(資料)大田区産業振興協会ウェブサイト

(資料)大田区ウェブサイト、大田区産業振興協会ウェブサイト、大田区・大田区産業振興協会「大田区工業ガイド」より作成



区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保については、なにを目指すか

将来のあるべきまちの姿とは

施策の方向性はどうあるべきか



論点2： 区内産業立地のあり方・展望

関連参考資料：

大田区に関する基礎資料集 43～46、60～61ページ
第2回部会資料 12ページ

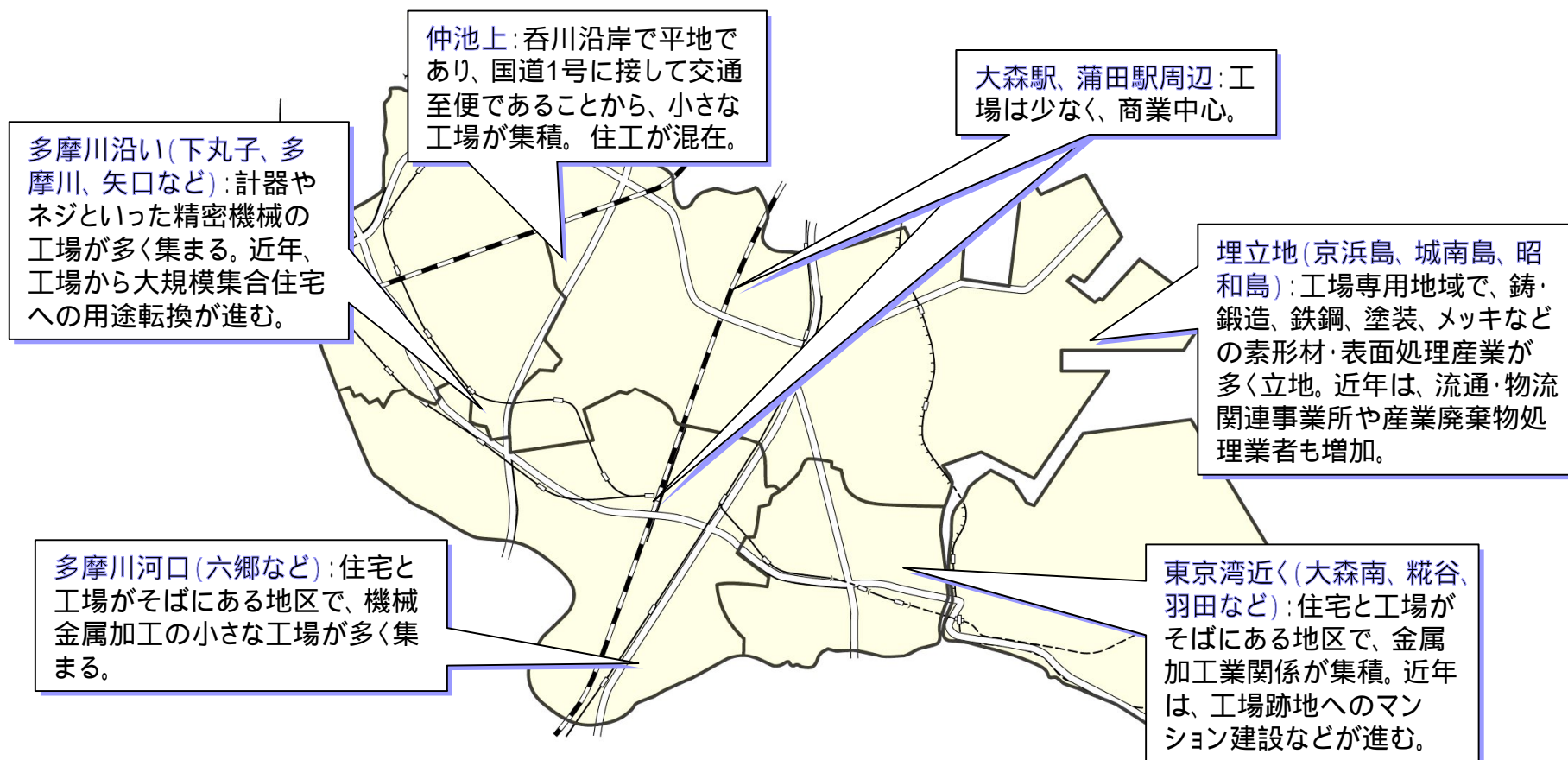
区内産業立地のあり方・展望

【現状】

大田区では、住工混在の市街地と、工業専用の埋め立て地を中心として、区内の広範囲にわたって工業集積を示している。特に東京湾岸沿いと多摩川沿いの立地が多い。

東京湾岸の埋め立て地では、近年は流通・物流関係の集積も進んでいる。

区内の産業立地概要



(資料)大田区ウェブサイト「輝け！大田のまち工場」、大田区・大田区産業振興協会「大田区工業ガイド」等より作成

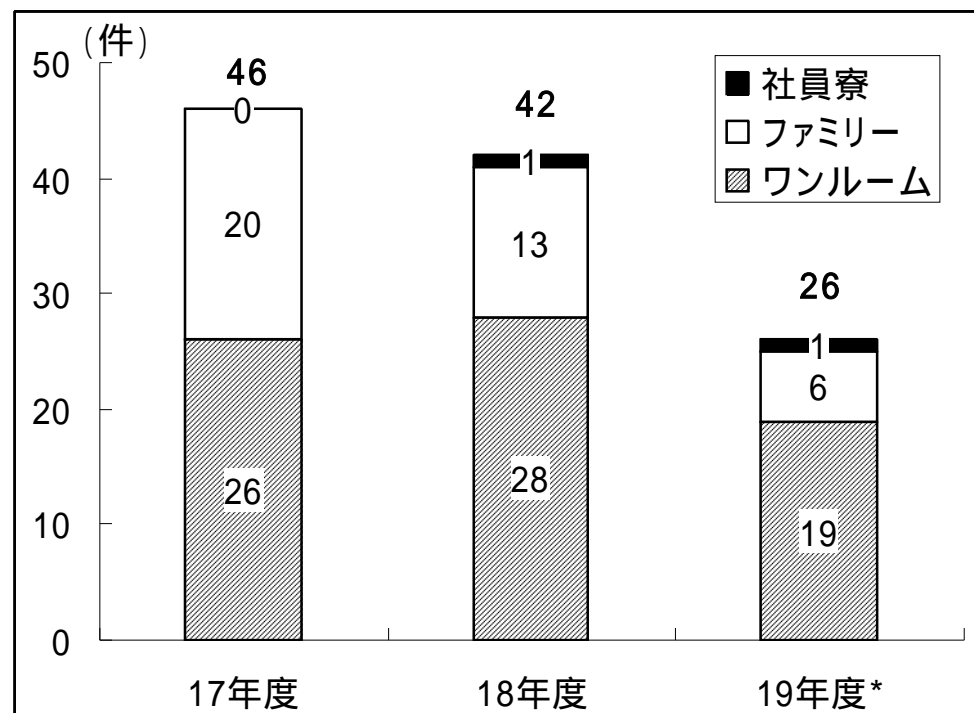
区内産業立地のあり方・展望

近年、移転や廃業による工場跡地へのマンション等の建設が増加し、住工混在化が進んでいる。このことは、工場の操業環境の悪化をもたらしている。

【住工調和環境整備事業の概要】

- 目的:工業の生産環境の維持・保全及び区民の安全で快適な住環境を確保し、活力のある調和の取れたまちづくりを実現する。
- 内容:工業地域及び準工業地域で15戸以上のマンション建設を計画する事業者に対し、大田区産業振興課との事前協議を行うよう指導。
- 根拠:大田区開発指導要綱第29条

住工調和環境整備事業の受付件数



(資料)大田区産業振興課作成

(注)居室タイプが混在する場合は、居室タイプの占める割合で分類。

例:ワンルーム18室、ファミリー8室の場合は、「ワンルームタイプ」とした。

*平成19年4月～10月15日現在

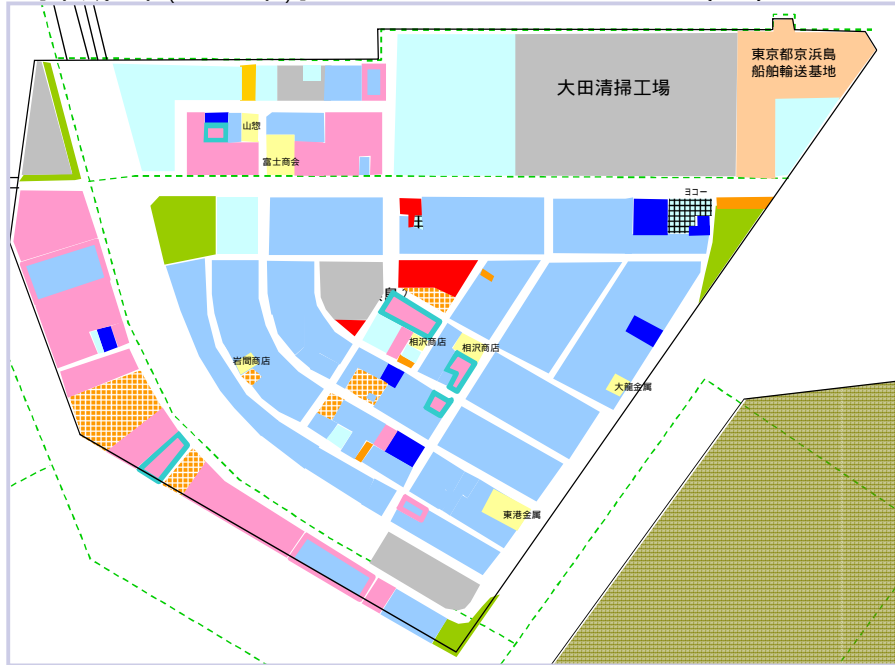
区内産業立地のあり方・展望

【現状】

大田区の京浜島や昭和島、城南島など島部では、鋳・鍛造、鉄鋼、塗装、メッキなどの素形材・表面処理産業が多く立地していたが、近年は流通・物流関連事業所や産業廃棄物処理業者など多様な業種の立地が進んでいる。

【平成6年(1994年)】

(例)京浜島の土地利用変化




1	公共・スポーツ施設	10	オフィス施設(主に事務所として利用されている施設)
2	公園・緑地	11	修理・整備施設(自動車、鉄道、航空機等の修理・整備工場、建設機械リース含む)
3	港湾施設(船舶係留所含む)	12	駐車場(月極、時間貸)
4	流通・物流施設(部品配送センター等含む)	13	駐車場(企業の自社利用)
5	生産・開発施設(鋼材・資材卸売施設含む)	14	交通関連施設(空港、鉄道、モルル、バス、タクシー等)
6	複合利用A(生産・開発施設+その他施設)	15	未利用地等(廃業工場・車両置場・資材置場・土砂置場等含む)
7	複合利用B(生産・開発施設以外の施設)	16	その他施設(変電所、学校等)
8	廃棄物処理・リサイクル施設	17	用途不明施設
9	商業・飲食・サービス施設(アミューズメント、GS含む)		

【平成16年(2004年)】



(資料)大田区臨海部産業動向調査



区内産業立地のあり方・展望については、なにを目指すか

将来のあるべきまちの姿とは

施策の方向性はどうあるべきか



論点3： 商店街等の区内商業の展望・方向性

関連参考資料：

大田区に関する基礎資料集 47～48ページ
23区比較資料 7ページ

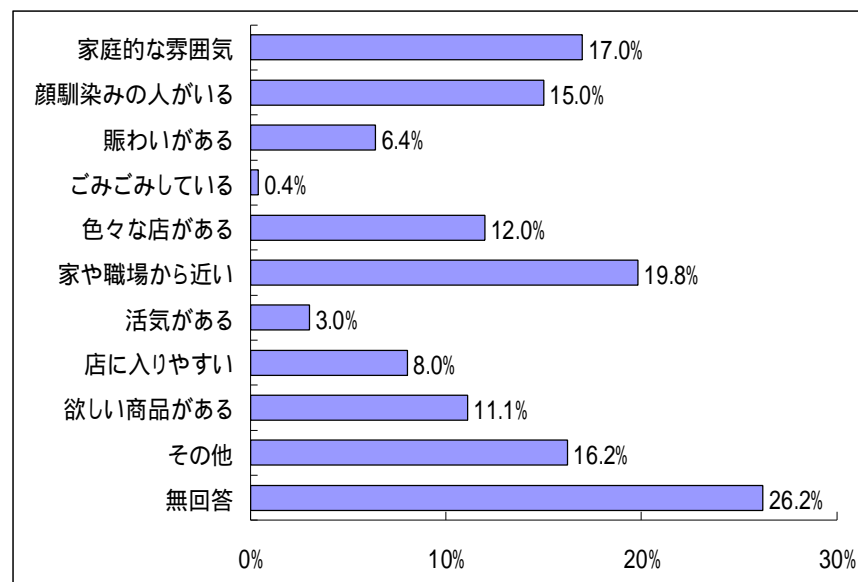
商店街等の区内商業の展望・方向性

大田区の小売業の事業所・従業者数・年間販売額はともに2004年は2002年に比べ減少している。一方卸売業については、年間販売額は増加している。【基礎資料集p.47】

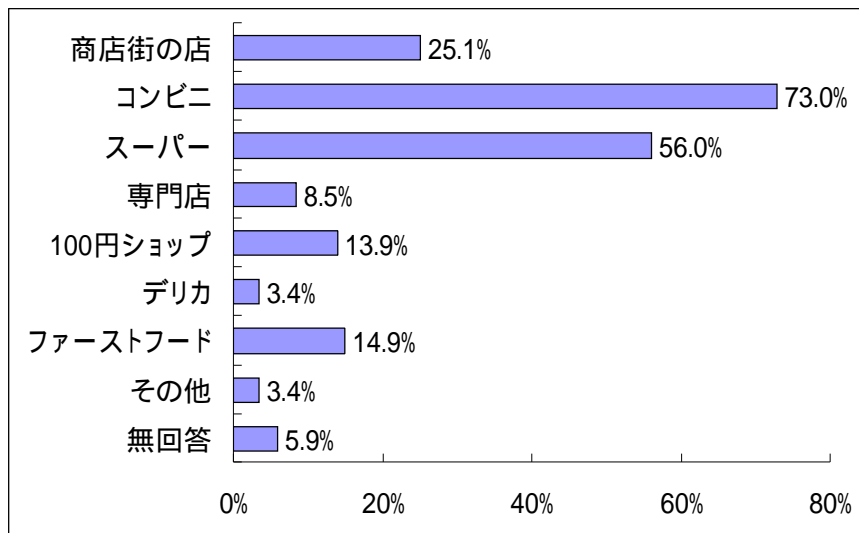
区内で利用されている店として、商店街の店はスーパー、コンビニに次いで高い比率となっている。

利用者からみて、商店街は家や職場からの近接性や、家庭的な雰囲気、顔なじみの人がいることなどが評価されている。一方で、ごみごみしている点、欲しい商品がない点などが、課題として指摘されている。

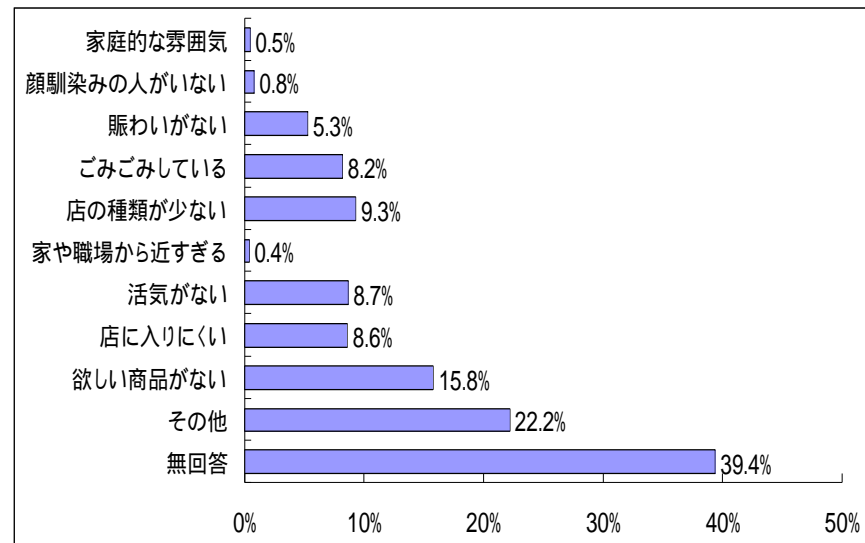
商店街にある店の好きなところ



区内でよく利用する店



商店街にある店の嫌いなところ



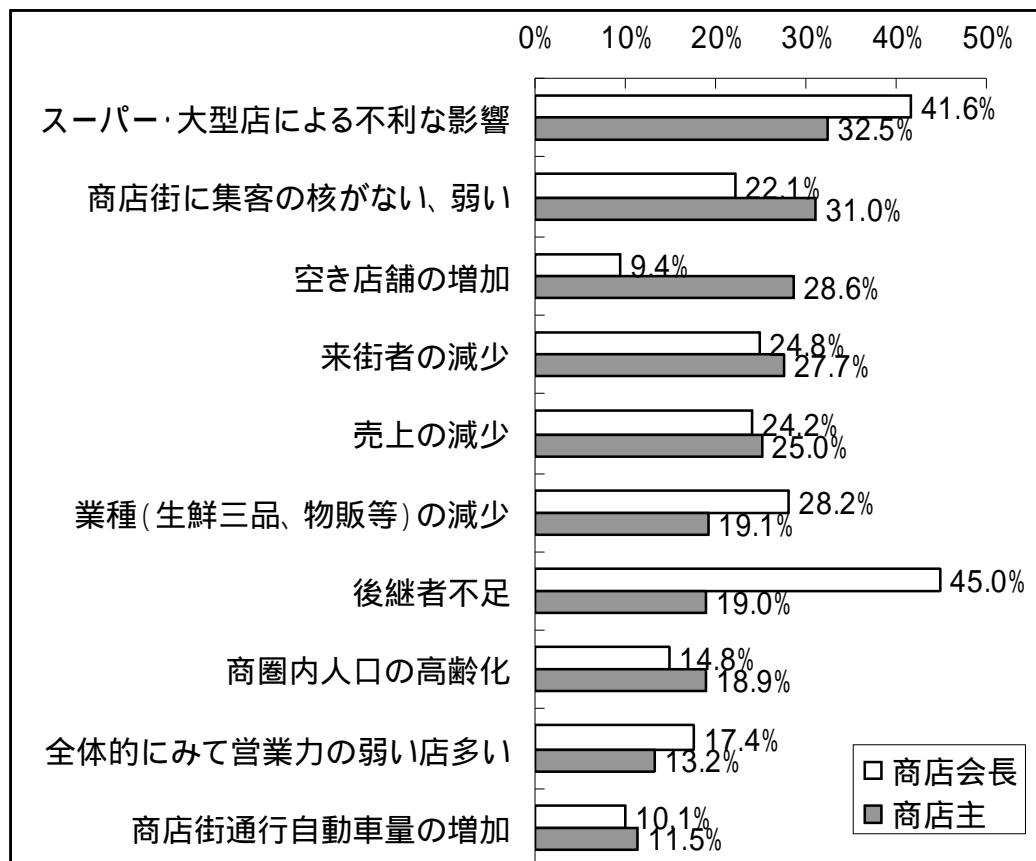
(資料)大田区「コンビニエンスストア等及び大規模小売店舗実態調査報告書」平成15年3月
 (注)上記、報告書のうち、コンビニエンスストアの利用者に対する聞き取り調査部分のみ抜粋、作成

商店街等の区内商業の展望・方向性

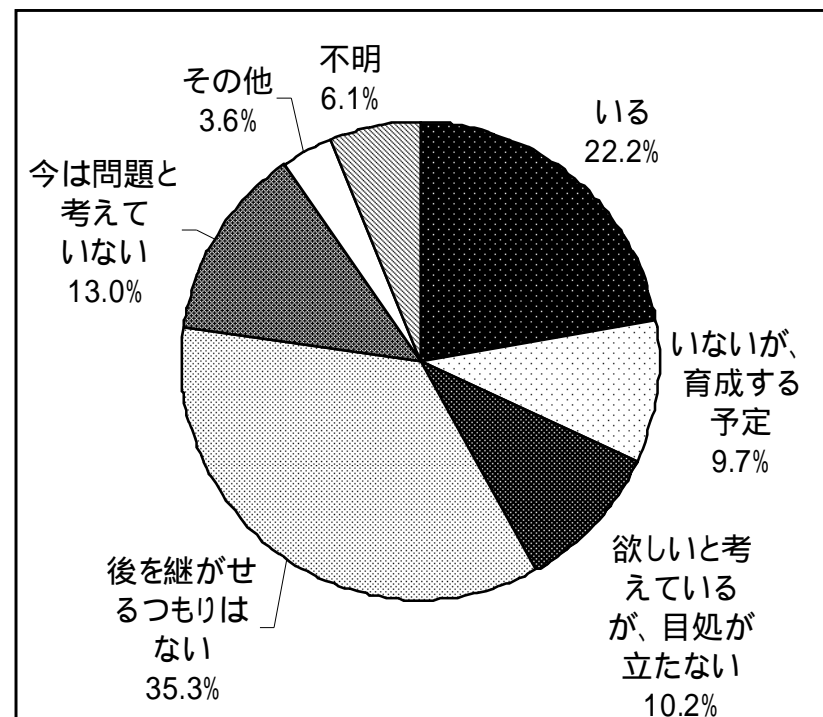
商店街の店主らの認識では、大型店進出や、核店舗不足や業種の減少、来街者や売上の減少が課題として上がっている。

後継者不足も問題となっている。後を継がせるつもりはない店主は35%にのぼっている。

商店街の重要な問題点(商店会長及び店主)



後継者の有無(店主)



(資料)大田区「商店街基礎調査 調査報告概要書」平成16年3月
 (注1) 商店会長及び店主へのヒアリング調査
 (注2) 「重要な問題点」は主要項目のみ掲載
 (注3) 「重要な問題点」の「全体的にみて営業力の弱い店多い」は、店主アンケートでは「経営力」である

商店街等の区内商業の展望・方向性

全国的には、郊外への大型店の進出や、中心市街地の人口減少、店主や地主の関心の低下等により、商店街の活力低下が懸念されている。

下記はそれぞれ、地域密着、個店の専門性強化、観光振興等を目的とした事例であり、こうした商店街活性化に向けた取り組みが各地で行われている。

商店街活性化の事例

静岡呉服町商店街の一店逸品運動(静岡市)


- ・同商店街は、県庁・市役所等の官庁や総合病院等に隣接する、同市の中心商店街の一つである。
- ・専門店として生き残るため、仕入れ販売するだけでなく、各店舗が魅力ある商品を開発することを目的に、平成5年から、各店舗での来店客とのやりとりを通して**独自の商品やサービスを開発・販売**している。
- ・他店舗の商品について、アイデアを出し合いながら、逸品の完成度を高めることもある
- ・逸品の例: サッカーボールイヤリング、お茶屋さんの脱臭剤、つえ傘

伝法院通りの江戸まちづくり景観整備事業(台東区)

- ・平成15年の「江戸開府400年事業」が盛況だったことから、「浅草地区観光まちづくり協議会」が発足し、浅草に江戸まちをつくること为目标として掲げられた。
- ・通り全体を**江戸まち風に景観整備**した(各店のファサード、ストリートファニチャー、土のイメージの舗装等)。
- ・つくばエクスプレス開業等の浅草の転機を捉えた事業であり、浅草の回遊性向上や滞在時間延長に貢献している。

(資料)東京都「商店街のみなぎるパワーとチャレンジ精神 第2回東京商店街グランプリ 事例集」
平成18年12月

(資料)中小企業庁「がんばる商店街77選」平成18年、同商店街ウェブサイト



商店街等の区内商業については、なにを目指
すか

将来のあるべきまちの姿とは

施策の方向性はどうあるべきか